

ヨコハマ市民まち普請事業

第1次整備提案書

※ 記入上の注意

- ①3号様式はページを増やさず、必ず2ページ以内でまとめてください。
- ②3号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。
- ③位置図及び現況写真以外に、整備提案のイメージ図などの資料をA4判2ページまで添付することができます。
その際、資料の両側に15mm以上余白を確保してください。

整備提案名	カサコ ー 丘の街の地域の軒下/世界の軒下 ー
提案グループ名	カサコプロジェクト実行委員
グループの現在の主な活動内容及び最近5年以内の活動実績	NPO法人Connection of the Children（以下CoC）を中心として活動を行っています。CoCでは2010年より、世界のつながりを視覚化し、見える形で人々を繋ぐことで、平和で、愛に満ちた世界を実現するため活動を続けています。2011年には、代表がユーラシア大陸を自転車で横断しながら、世界中につながりを作ってきました。帰国後50カ所以上で、旅で得た経験を元に講演会やワークショップを行っています。現在はNPO法人として、教育現場、地域住民と連携し、これからの世界を担う人材の育成、事務所であるカサコにて、世界の旅人の受け入れ、地域住民、子どもの居場所作りを既に展開中です。
整備場所の所在地	西区 東ヶ丘23-1
整備提案の内容 (どのような整備を提案するのか文章で記入してください)	「カサコプロジェクト ー丘の街の地域の軒下/世界の軒下ー」は、横浜市西区東ヶ丘の坂の上にある2階建ての長屋を改修し、地域の子供の寺子屋/放課後の居場所/世界からの旅人のためのゲストハウス/地域の身近なイベントスペースとして使用できる「多世代、多国籍の交流スペース」として整備していくプロジェクトです。詳細は別紙をご参照下さい。 整備費用の概算額：約 700万円 ※添付資料として整備提案のイメージ図を添付することができます。
整備提案の動機や背景	<ul style="list-style-type: none"> ・東ヶ丘は坂の多い街であり、地形の厳しさは高齢者が生活するには困難を伴う環境とも言え、坂の上部には空き家が目立ちつつあります。 ・子供の放課後の居場所が不足しているということが問題視されています。 ・地域の人々で気軽に集まれるような場所が少ないという問題があります。そのため、既にカサコでは、子どもの受け入れを実施しております。 ・地域の主要な動線沿いに位置しており、地域の人々や子供たちが気軽に立ち寄る交流スペースとなる可能性を有しています。実際、町内会の方々がよくカサコに立ち寄ります。 ・多世代が取り柄を活かしながら助け合うことが、防災や防犯などの問題に対する地域の力となり、常日頃から顔を合わす場所があることが重要です。 ・海外旅行者向けのゲストハウスとしても活用することで、地域の子供の国際交流、旅行者の地域交流経験を生みだしたいと考えています。5/15現在、5カ国、12人の旅行者が滞在しています。今後も継続的に予約あり。
整備の効果 (整備したい施設がどのような人たちに利用され、地域にどのように貢献すると考えますか?)	<ul style="list-style-type: none"> ・『子供の居場所、寺子屋ワークショップ』（対象者：地域の子供） 週1回、地域のこと/世界のこと/自分のことを遊びながら理解をしていくワークショップを行います。子供の教育をきっかけに、地域の資源を再発見したり、地域全体、多世代交流を促したりしていきます。（現在試用期間。7月より本実施） ・『カサコスタジオ（レンタルスペース）』（対象者：地域住民、その他一般） 前面道路から気軽に入れる1階をイベントスペースとして貸し出します。餅つき大会、生花教室、音楽会等で、地域住民が使用する場の提供を行います。使いやすいキッチン

	<p>を併設することで、地域のお祭りの際の会場や料理教室にも使うことができます。(週に一度、試験運用中。7月より順次実施。)</p> <p>・『旅人の宿り木(カサコ宿泊プログラム)』(対象者：海外からの旅行者)</p> <p>海外からの旅行者を受け入れるプログラムです。旅の経験豊富なカサコのメンバーが旅行者の横浜滞在をサポートし、地域との交流のきっかけを生みます。子供たちとの関わり場を用意し、身近な国際交流の場となります。(展開中)</p>
整備した施設の維持管理・運営	<p>事業運営に携わるメンバー構成</p> <p>NPO法人CoC：管理運営、ワークショップ運営、地域サポート</p> <p>大家：NPO法人CoCのカサコでの活動サポート、ワークショップ講師</p> <p>東ヶ丘町内会：NPO法人CoCのカサコでの活動サポート、イベントの企画</p> <p>横浜の若手(建築家)：継続的な場所づくりサポート</p> <p>アートスペース「と」店主：プログラムアドバイザー</p> <p>横浜国大大学生有志ボランティア：運営サポート</p>
<p>○提案内容におけるアイデアやユニークさ</p> <p>○提案を実現するために活用する地域の資源</p> <p>注4)</p> <p>○その他提案について特にPRしたい点</p>	<p>■世界中を旅した経験を活かしたプログラム「地域×世界」</p> <p>世界を旅したCoCのメンバーの経験を活かして、子ども、地域の人々、海外からの旅行者を対象としたイベントを開催し、文化の理解を計るとともに新しい繋がりを生み出すことを目指します。</p> <p>■物の時間、場所の記憶を活かしたリノベーション、みんなで作る</p> <p>築60年の木造長屋を改修、資源を活用し愛される空間を生み出します。</p> <p>■建築家や子供の居場所づくりのプロと共同で進める</p> <p>横浜を拠点に活動する建築家、ながきに渡り子供の居場所づくりのNPOを主催してきた専門家と協働して行きます。</p> <p><提案を実現するために活用する地域の資源></p> <p>【ヒト】・さまざまな特技をお持ちの地域住民の方々(裁縫上手の方、料理上手の方等)に、ワークショップ講師をお願いしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会長並びに、町内会主力メンバーのプロジェクト運営支援をお願いしています ・地域住民の方々にカサコ日替わり管理人としての協力をしてもらいます。 ・改修設計は横浜を拠点に活動している建築家(tomito architecture)に協力をお願いしています。 <p>【モノ】・建物に既にあった建具や材料は保存しており、改修の際に活用することが出来ます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺(特に坂の上部)で建物の解体や引っ越しが相次いでおり、その度に不要な家具や廃材を頂いています。また活動に共感をしていただいた方から不要な家具や電化製品等の物品提供を受けております。 <p>【カネ】・町内会から資金的な支援を受けることができそうです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外旅行者の受け入れを開始しており、既に多くの方々に利用して頂いております。 <p>持続的に場所の運営をしていくための資金を生み出すことが見込めております。</p>

注4)「地域の資源」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例 ・地域のPTAから協力を受けられそう。 ・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例 ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例 ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 ・バザーなどで資金を集められそう。

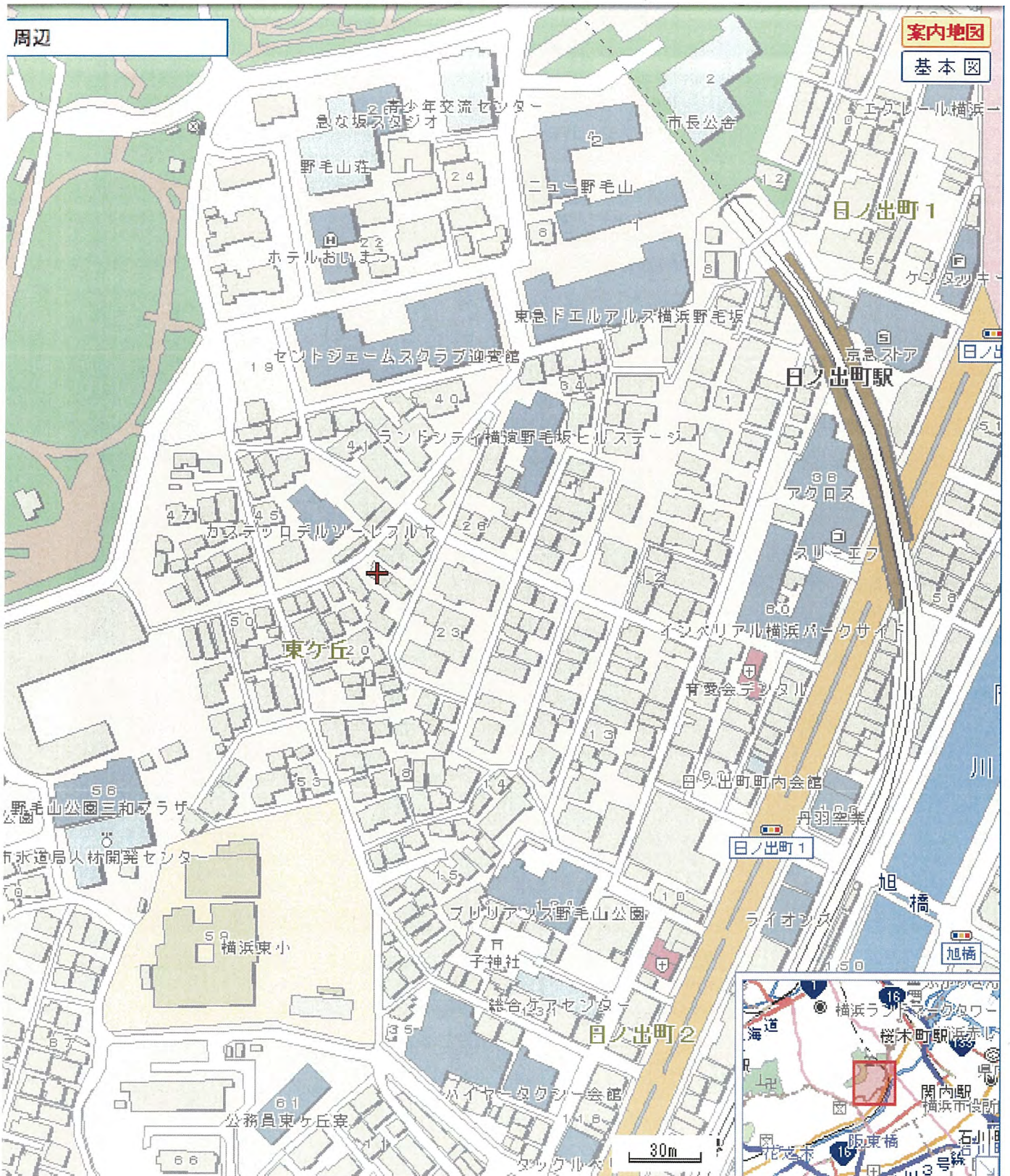
整備場所の地権者等注5)への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況	
説明の相手方	相手方の意見等
土地・建物所有者	地域に開かれた、子どものためとなる場所になってほしい。若い人の力で地域を盛り上げてほしい。

注5)土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者(会社や行政機関も含む)

記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報は含まれていません。

敷地図



現状写真



▲ 通りから見たカサコ



▲ 水回りスペース



▲ サロンスペース (現状)01



▲ 正面からみたカサコ



▲ サロンスペース (現状)02

東ヶ丘とカサコ



カサコのある東ヶ丘は、京急日ノ出町駅裏の丘に広がる住宅地です。急な階段や坂道、大きな石垣が連なる風景はここならではの魅力がある一方、地形の厳しさは高齢者が生活するには困難を伴う環境とも言え、坂の上部には空き家が目立ちつつあります。

東ヶ丘は、地域の子供の放課後の居場所が不足しており、また、地域の人々が気軽に集まれるような良質な場所が少ないという問題があります。カサコは近くの学校に通う児童の通学路ともなる地域の主要な動線沿いに位置しており、地域の人々や子供たちが気軽に立ち寄る交流スペースとなる可能性を有しています。多世代がおのおのの取り柄を活かしながら住民同士で相互に助け合うことが、防災や防犯などの問題に対する地域の力となります。そのためには、常日頃から気軽に顔を合わせられる場所があることが重要です。

加えて、カサコを運営する NPO 法人 CoC の世界中を旅したメンバーの経験を活かし、海外旅行者向けのゲストハウスとしても活用したいと考えています。子供たちには身近な国際交流を経験を、旅行者には観光地には無い地域の人々との交流を経験する場となることを目指しています。

これまでの実績

町内会と連携し、地域の方々の集まれる場・地域の方々が先生となりってワークショップを行う場・子どもが放課後立ち寄れる場にすべく、現在共同で仕組みを製作中です。一方で、海外旅行者の受け入れを開始し、既に多くの方々に利用して頂いています。こうして、持続的に場所の運営をしていくための資金を生み出すことが見込めています。



▲町内会餅つき大会参加の様子



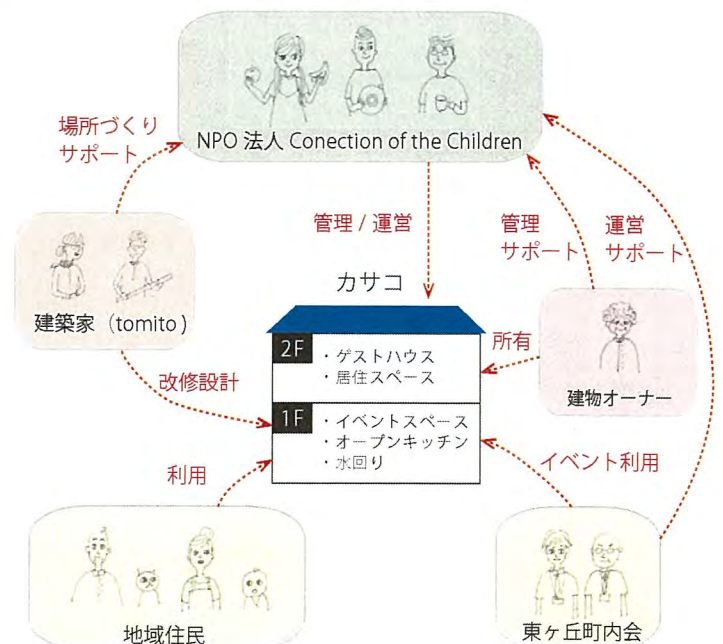
▲海外旅行者の旅をサポート



▲地域と連携した場所づくりイベント・外壁塗りワークショップの様子



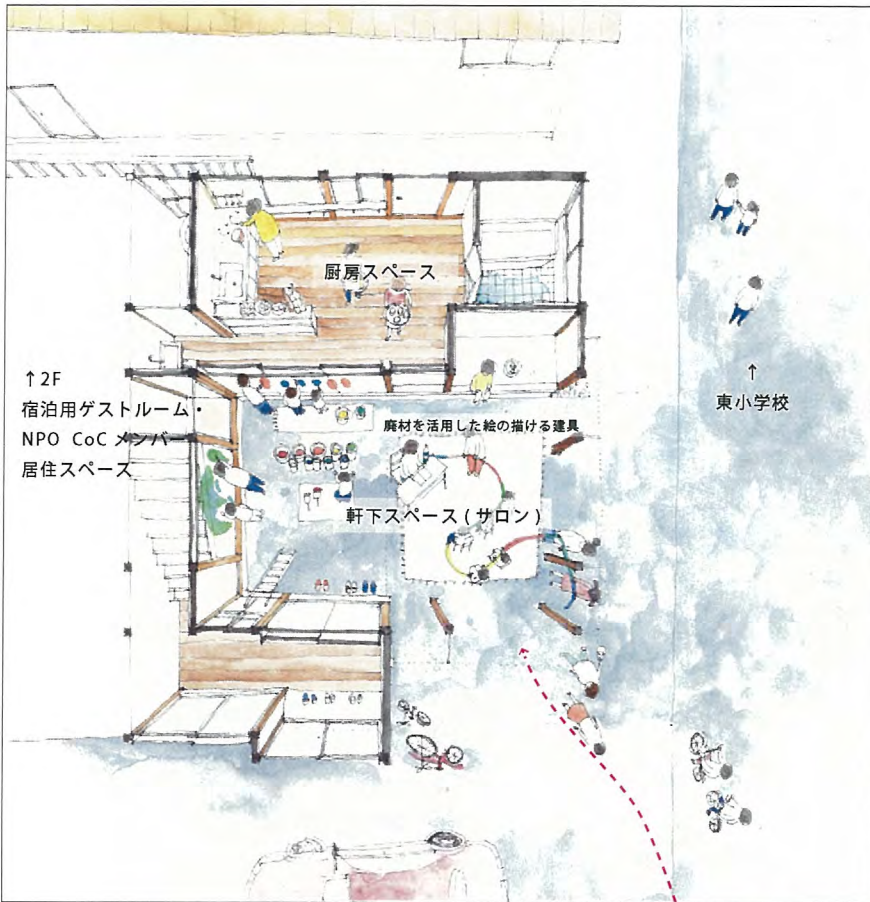
運営方法



多世代・多国籍の交流スペース

横浜市西区東ヶ丘の坂の上にある2階建ての長屋を改修し、地域の子供の寺子屋 / 放課後の居場所 / 世界からの旅人のためのゲストハウス / 地域の身近なイベントスペースとして使用できる「多世代、多国籍の交流スペース」として整備していくプロジェクトです。

築60年の木造家屋を補修しつつ、既存の価値を再発見していく「リノベーション」という手法で改修を行います。1階がワークショップやイベントを行うためのサロンと厨房と水回り、2階がゲストハウスのベッドルーム及びNPO法人CoCメンバーの居住スペースとなります。



- 外構**
 - 01. 外壁の塗装 地域に開いた場所にするため、建物の外壁を一部解体し、道から連続した軒下空間(サロン)を用意します。
 - 02. 道路側の壁
 - 03. サッシの改修
- 内装**
 - 01. 床や壁の補修 床や壁等の傷んでいる部分を補修し、安全に活用するための対策を行います。ワークショップで塗装を行います。
 - 02. 吸音性能
 - 03. 塗装
- 建具家具**
 - 01. 建具 既存の建具を撤去し、道路側からも入れるような掃出し窓を設け、縁側のような造作の固定ベンチ等を制作します。
 - 02. 家具
- 厨房**
 - 01. 厨房機器 イベントの際に必要な備え付きの厨房設備を整備するとともに、将来的にカフェとして利用するため、必要最低限の各種設備(衛生設備、手水洗等)を準備します。
 - 02. 衛生設備
 - 03. 家具造作
- 電気、給排水設備**
 - 01. 電気設備 以上の工事に伴い、各室・外構の電気設備の配線を整理し、増設を行います。
 - 02. 給排水設備



地域のお祭りの際にも開かれた場所と使用される。



通りから気軽に入ることができる土間空間。

プログラム

カサコ × 子供 地域の子供の寺子屋 放課後の居場所

週1回毎に、地域のこと / 世界のこと / 自分のことを遊びながら理解をしていくワークショップを行います。主催はNPO法人CoC、参加者は主に東小学校の児童です。時には地域の方を講師に迎え、裁縫上手なAさんの裁縫教室、トルコ人によるトルコ料理教室等を実施します。こどもの教育をきっかけに、地域の資源を再発見したり、地域全体、多世代交流を促していきます。

カサコ × 地域 地域の身近な休憩所 イベントスペース

前面道路から気軽に入れる1階をイベントスペースとして貸し出します。餅つき大会、生花教室、音楽会等で、地域住民が使用する場の提供を行います。使いやすいキッチン併設することで、地域のお祭りの際の会場や料理教室にも使うことができます。

カサコ × 旅人 世界の旅人のためのゲストハウス

海外からの旅行者(主にバックパッカー)を受け入れるプログラムです。旅の経験豊富なカサコのメンバーが旅行者の横浜滞在をサポートし、観光地では味わうことができない地域との深い交流のきっかけを生み出します。地域の子供たちとも積極的に関わりの場を用意し、子供たちには身近な国際交流の場となります。

ワークショップや場の相互利用により、多世代・多国籍の交流を促す